

ヘブル語聖書「禁断の章」—何が隠されているのか？—

YouTube(英語) https://youtu.be/cGz9BVJ_k6s 訳 By みほ

【ナレーター】このタナハー（ヘブル語旧約聖書）にはね、昔はシナゴークで読まれていたんだけど、後になってラビたちが毎年の朗読で読まないって決めて、ハフタラー（預言の書）から除いちゃった章があるんですよ。

今日は、その「禁断の書」について、考えたいと思います。

—聞いた事ありますか？

【Aさん：黒キツパを被った顎髭の人】聞いたことないです。

—隠された章を見たいと思いますか？

—持っていますか？

【Bさん：サングラスの老婦人】このタナハーにあるわよ。

【Cさん：白キツパを被った若者】できれば、それ、知りたいよ。

【ナレーター】この番組を放映するのは、実際にほとんどのユダヤ人が、もはやシナゴークで読まれていないこの章を読んだことがないからなんです。その章とは、イザヤ書 53 章。最重要メシア預言です。イザヤが執筆した 1,700 年後、実に、全てのラビと賢者が、メシアについて書かれたこの章を信じたのです。また、タルムードにも、サンヘドリン 98 にも、ヤルクト・シモニにも、ゾーラー、ランバンその他、この章がメシアについて言及していることを信じています。それで、面白いのは——この章のいくつかの節を読んでみて、何と書いてあるか見てみましょう。

3 彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。

(イザヤ書 53:3)

【Dさん：正統派の帽子をかぶった人】これは…メシアについて言ってる。

【Bさん】ホント、パワフルね！

【Eさん：グレーのシャツを着た人】これは社会から拒絶された人の事が書かれてるね。

【Bさん】我々の民は、彼を悪い人だと確信してるわね。

【Cさん】僕わかんないんだけど…なぜ彼が受け入れられなくて、——拒絶されたのか。

【Dさん】私たちは彼をメシアだと思っていない。

4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。

(イザヤ書 53:4)

【Cさん】彼は、全部の痛みと、苦しみと、病を身に負ったんだね。そして、それなのに人々は彼のことを拒んだんだ。

【Fさん：顔にモザイクがかかっている人】彼は僕らに良くしてくれた。けど、根本的に我々は、彼に悪で報いた。

【Aさん】彼は私たちのために苦しんだんだね。根本的に、我々が犯した罪のために——彼は苦しんだと。

【Fさん】彼は、彼自身を僕らにくださって、僕らのために苦しんで、僕らの病や全ての罪が取り去られた。

8 しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことだろう。彼がわたしの民のそむきの罪のために打たれ、生ける者の地から絶たれたことを。

9 彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。

(イザヤ書 53:8~9)

【Fさん】12節に「彼が自分のいのちを死に明け渡し」って書いてある。

【ナレーター】最終的に、彼は苦しんでどうなりましたか？

【Eさん】死んだ。

【Bさん】死んだのね。

【Gさん：若い女性】彼は、…富む者と共に葬られる——すごいね、私もそうなりたいわ！

【Cさん】つまり、根本的に、彼らは彼を無実の罪で咎めて罰して…面白いね、彼は死んだ。…でも、名誉ある死とは言えない死だね。

【ナレーター】まず第一に、メシアについて、これが全て彼の上に起こった事を聞いたことがありましたか？

【Eさん】いいえ。

【Aさん】いいえ。

【Bさん】ないわよ！No!

【ナレーター】この、メシアについての記述はこの節だけじゃなくて、ゼカリヤ書にも、ダニエル書にも、また他のところにも書かれていて、昔のラビたちは、メシアが苦しむことになっていたことを理解していました。

5 しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。

6 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。

(イザヤ書 53:5~6)

【Eさん】わかった。この節によると、彼は私たちの病とか悪を吸い取ってなくしてくれるから、それで私たちは癒されるんだ。彼は根本的に、罰を受ける人になってくれるようになり、彼が全てを引き受けて…OK。

【Dさん】彼は、我々のすべての不正や悲しみを引き受けて、それは全部過ぎたことになった。

【Cさん】彼が、彼自身に全部引き受けた。

【Bさん】私たちの全部の罪と悪を、この重罰を、全部一人の人に負わせたの？

【ナレーター】それで、皆、疑問が出て来ます。

「私の人生に罪なんてあるの？」

あなたは盗みをしたことがありますか？——小さいものでも、あるいはインターネットからあなたの物じゃないのに、何かを勝手にダウンロードするとか？

【Cさん】やらない人なんている？

【ナレーター】例えば、嘘をついたことはありますか？

【Fさん】あります。

【Bさん】もちろん！みんな嘘つくでしょ！

【ナレーター】僕も嘘をつきます。その点で、無実だなんて言えません。それから、欲深くなったことはありますか？

【Cさん】あります。

【Eさん】そりゃあね。僕は大罪人だね！

【ナレーター】それから、聖書によれば、私たちの悪い考えや態度、利己的になったり、プライドとかいろいろ——それは全部罪だと考えられています。だからもし、例えば、自分の考えていることがスクリーンに全部映し出されて、あなたの知っている人がそれを見たとして、いい方ばかり見てくれると思いますか？それとも、そうじゃない方も？

【Cさん】両方、両方とも見ますね。

【Fさん】まず第一に、当然悪い方を見るよね。皆、めっちゃ正義の人であっても、頭の中では悪いことを考えてる。

【Bさん】そうなったら、私、「全部消えちゃって、いい方だけならいいのに！」って言うわ(笑)

【ナレーター】神は完全に聖であり、清いので、彼は罪があるところに存在することはあり得ません。そして根本的に、私たちの罪が、私たちと神を切り離すので、私たちは結局、罰せられるのがお似合いなんです。エゼキエル 18:4 には、「罪を犯した者は、死に値する」と書かれています。究極的には、神からの分離は永遠の滅びです（ダニエル書 12:2）

【Bさん】そんなの嫌だわ！

【ナレーター】つまり、結局のところ、あなたは自分の罪からの救いと償いが必要だとは思いませんか？

【Cさん】うん。物凄くそう思うね。

【ナレーター】僕もそうです。実際のところ、だれでもそれが必要です。
——償える人はいないです。

でも、素晴らしいニュースがあります。

神は、ただの裁判官ではありません——私たちを愛しておられる父だからです。

それゆえ、神はトラーの中、犠牲のいけにえのシステムを私たちにくださったのです。いけにえは、人々の罪を肩代わりすることになります。

聖書に書かれている記述によると、いけにえのシステムはやがて終わりを迎え、それに取って代わるものとして、…

【Eさん】神はメシアと呼ばれる人を送る事になっている…彼が、全ての罪を彼自身の上に引き受ける。

【ナレーター】その通りです。さっき読んだばかりですね。タナハーには、神が私たちにメシアが誰なのかについて、私たちが彼を見分けることが出来、なおかつ見間違えることがないようにするための、

大変際立った記述があるのです。それからもちろん、この方がどなたかを知ることは極めて重要です。なぜなら、この方以外に、救いも償いもないからです。彼が唯一、私たちの罪を取り去ってくれるからです。ダニエル書9章には、メシアは第二神殿崩壊前に来られると書かれていて、それはA.D. 70年に起こりました。だからメシアは、その前に来ていなければならなかったことが、タナハの内容から分かります。ミカ書5章には、メシアはベツレヘムでお生まれになるとあるし、そしてイザヤ書53章——今読んだばかりですが——我々ユダヤ人は、初め彼を拒絶し、彼は苦しんで死ぬ、とあります。次の節で、彼の死後、死から復活するとあります。そして、多くの異邦人が彼を受け入れ、彼ゆえにイスラエルの神を知るようになる、とあります（イザヤ書49章）。さて、このタナハからの記述をもとに、歴史上の人物でこれを成就した人がいましたか？

【Gさん】知らないわ。

【Bさん】いいえ、誰だかわからないわ。あなたは知ってるの？

【Dさん】実際にそんな人なんているの？

【Eさん】いや。——分からない。たぶん、あなたが今教えてくれた人は存在すると思うよ。けど、僕には「ああ、そうです」って言うには言うものの、それが誰かは思いつかない。

【Cさん】イエス・キリスト。

【Fさん】ねえ、僕はもう一回念を押すけれど、彼のことは全く、微塵も信じてないよ。でも、今まで聞いた話の全部をもとにすると、イエスがぴったり当てはまる。彼は偉大な人だったのに、皆、価値のない者としてしまった。彼が偉大な御業を成し遂げて死んだのに、人々は全く正反対の人物像をイメージしているからね。

【ナレーター】さて、僕はイエスを信じています。彼は第二神殿崩壊前に来られ、正確に成就されました。A.D. 70年以前に、ベツレヘムでお生まれになりました。我々イスラエルの民は彼を拒絶し、彼は苦しんで死に、死からよみがえりました。死からよみがえられた後、500人のユダヤ人たちに会い、そして、彼らはイエスについて書いています。そしてもちろん、多くの異邦人たちが——何十億と——イエスを受け入れました。

メシアは言いました。

「わたしは自ら、——あなたがたにふさわしい、全ての苦しみと罰を——わたし自身の身に引き受けま

す。」

しかし、この贈り物を私たちが受け取るためには、いくつかしなければならないことがあります。罪を告白し、悔い改め、もはや罪と関わらず、メシアを信じ、そして私たちの罪がメシアの側に移動するのだと。唯一、私たちがこのメシアを信じ、彼を人生に受け入れるなら、私たちの罪は、彼が身代わりに引き受けてくださり、取り去られます。

【Cさん】僕は今まで聞いたことがなかったよ。なぜなら…イエスの話をしているうちに、何らかの「バリア」が既にある、彼のことを考えたいとさえ思わない、心を開きたいとも思わない、これっぽっちも考えたいと思わない。人々は彼を…ちょうどこの聖句にあるように…拒絶したんだ。

私たちのメシアを見逃していませんか？

500,000人以上のユダヤ人が、メシアを見つけました。

イエスは、私たちの人生をドラマチックに変えてくださいます。